

異年齢教育における発達

概要

現在、幼稚園や保育園では、縦割り活動を取り入れている園も少なからずありますが、小中学校では、同学年による学級編成が中心となり、同年齢教育が一般的です。部分的に異年齢集団の活動が取り入れられてはいますが、あくまで同年齢集団での教育が中心となっています。しかし、例えば、異年齢集団のプロジェクト活動を学習の中心として設定している私立の小中学校もみられます。

多くの学校で取り入れられている同年齢の児童生徒を対象とした一斉授業形式は、確かに効率的な教授法です。一方で、発達の個人差や正統的周辺参加論の考え方を踏まえると、異年齢集団での学びや発達の可能性も検討されてもよいのではないのでしょうか。

そこで、2020年度の学習指導要領の改訂を控え、子どもたちの学びが大きく変わろうとしている中で、同年齢教育と異年齢教育について改めて検討していきたいと思います。本シンポジウムでは、それぞれで可能な学びや発達とはどのようなものであるかについて整理し、学校教育の中に異年齢教育を取り入れていく可能性について、議論し、検討していきたいと考えています。

◆日時：11月10日（土）
14:00～17:00（受付：13:30～）

◆場所：明星大学26号館1階101教室
（東京都日野市程久保2-1-1）



お申込みはこちら

登壇者 話題提供者

岩瀬直樹氏（一般社団法人軽井沢風越学園設立準備財団）

川田 学氏（北海道大学大学院教育学研究院）

上坂保仁氏（明星大学教育学部）

指定討論者

都筑 学氏（中央大学文学部）

山本 睦氏（常葉大学保育学部）

【主催】日本発達心理学会 【共催】明星大学

【後援】日野市教育委員会

八王子市教育委員会

（公社）八王子観光コンベンション協会

<お問い合わせ先>

明星大学教育学部 布施光代（Mail:mitsuyo.fuse@meisei-u.ac.jp）

参加費は無料です。事前の申込みをお願いいたします（当日参加も可）。